



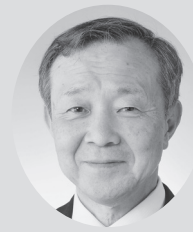
武内市長
と
本格論戦

給食無償化、補聴器購入助成の実現を

軍拡より、平和の準備・暮らし支援を

皆さんの声を届けて質問します

6月議会は、武内市長のもとで、本格的な予算編成に対する論戦の場となります。相次ぐ物価高騰にどう立ち向かうのか、また「子育て日本一」、お年寄りが暮らしやすい北九州をどう実現するのか。そして「軍拡ではなく、平和の準備」。原爆投下の目標となった北九州市から、その声を大きく広げていきたいと思います。



荒川徹 議員

荒川徹 議員（代表質疑、90分）

- ◆官民連携の行財政改革について
- ◆物価高から市民の暮らし事業者の経営を守る対策について
- ◆高齢者福祉施策について
- ◆ジェンダー平等施策の推進について
- ◆地球温暖化防止対策について



永井佑 議員

永井佑 議員（一般質疑、60分）

- 低用量ピルと生理について
- 保育問題について
- 教員の働き方について



伊藤淳一 議員

伊藤淳一 議員（一般質疑、30分）

- `5類化、後の問題点について
- 避難所の感染、高齢者等の対策について



高橋都 議員

高橋都 議員（一般質疑、30分）

- 公共施設マネジメント計画について
- マイナンバーカード健康保険証について



出口成信 議員

出口成信 議員（一般質疑、30分）

- 下関・北九州道路について



山内涼成 議員

山内涼成 議員（一般質疑、30分）

- 白島石油備蓄基地について
- カラス対策について

◆本会議（開会）	1日(木)
◆議会運営委員会	7日(水)
◆本会議（代表質疑）	8日(木)、9日(金)
◆本会議（一般質疑）	12日(月)～14日(水)
◆本会議・予算特別委員会	15日(木)
◆予算特別委員会	16日(金)～21日(水)
◆予算特別委員会／市長質疑	23日(金)
◆常任委員会	26日(月)
◆予算特別委員会・議会運営委員会	27日(火)
◆本会議（閉会）	28日(水)

※請願・陳情の締め切りは6月16日(金)です

広がる給食費無償化

学校給食の無償化実施自治体は2017年末で82自治体にとどまっていたが、2022年末には254自治体へと、大きく広がっています。

東京でも葛飾区、世田谷区、北区、中央区、品川区、荒川区などに拡大。国際的な調査でも「育児支援施策として何が重要か」との問いに日本で最も高いのは「教育費の支援、軽減」です。給食費の無償化はこの声にも応えるものです。

補聴器助成でいきいき老後

補聴器助成の実施自治体は、2021年7月までは35自治体に過ぎませんでした。今年4月現在で、144市町村にまで広がっています。

新潟県では30市町村中、9割近い26自治体で実施されています。耳鼻咽喉科の医師は補聴器による認知症の予防効果を指摘します。北九州市でも「補聴器助成でいきいき老後」の声を広げましょう。

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2023.5.24

No. 577

発行 日本共産党北九州市議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

ホームページアドレス⇒ 日本共産党北九州市議員団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



23年度予算編成で武内市長と意見交換



武内市長（左端）に「予算編成にあたっての提案」を手渡し、共産党市議団

4つの柱、260項目

日本共産党市議団は4月17日、武内和久市長と田島裕美教育長に対し、「2023年度北九州市予算編成にあたっての提案」を行いました。市議団と武内市長が予算編成をめぐって意見交換したのは初めてです。

提案は「市民の医療と福祉の充実」「安心して子育てができる環境づくり」「市民の知恵と力を活かすまちづくり」「憲法の精神を生かした平和と人権を守るまちづくり」の4本柱からなり、項目数は260に及んでいます。議員からは、少子化・人口

増対策の重要性を指摘したうえで、学校給食について「無償化が全国に広がっている。北九州でも実現を」と求めました。

築城基地などへのミサイル配備や北方基地の強靱化について、市民の安全を守る立場から「情報の収集や開示」を強く要望。市長は「市民に影響のあることについてはアンテナを持っておくことが大事」と回答しました。

また、女性副市長の実現を踏まえた「女性ヘルスケアの理解の促進」を求めました。

市営住宅の収入申告の申請



「簡単に免除申請できます」と説明する出口議員

北九州市は今年4月から市営住宅の収入申告の免除申請が簡単になりました。認知症の方が毎年提出している収入申告書を出し忘れたため家賃が

2倍以上になった問題を出口成信議員が議会で取り上げ、その改善を強く要望したことがきっかけとなりました。

提出するのは①収入申告免除の申出書・所得調査に関する同意書

②収入申告免除にかかわる意見書の2種類。意見書は介護従事者（ケアマネ）などによる簡単なもので大丈夫。詳しくは党議員団に連絡を。

認知症の方などは免除にケアマネの意見書で可能 出口議員の質問が市政動かす

北九州市は今年4月から市営住宅の収入申告の免除申請が簡単になりました。認知症の方が毎年提出している収入申告書を出し忘れたため家賃が

2倍以上になった問題を出口成信議員が議会で取り上げ、その改善を強く要望したことがきっかけとなりました。

提出するのは①収入申告免除の申出書・所得調査に関する同意書

②収入申告免除にかかわる意見書の2種類。意見書は介護従事者（ケアマネ）などによる簡単なもので大丈夫。詳しくは党議員団に連絡を。

生活支援・物価高騰対策を



4月26日開催の臨時市議会で、大石正信市議は物価高騰支援問題を取り上げ、国に対し市として、地方への交付金を増額するように求めるとともに低所得世帯などへの一刻も早い給付を要望。併せて物価高騰に苦しむすべての市民と事業者支援のため、社会保障の充実、子育て支援、消費税減税、インボイス導入中止など、抜本的な生活支援を市と

して、政府に要望すること、また、市独自に下水道・下水道料金の減免、肥料価格の高騰に苦しむ農家への支援を行うよう求めました。

武内市長ら執行部は市独自の上乘せ支援や、物価対策として最も効果のある消費税率の引き下げを国に要望することなどを拒否。市民の暮らしを守ってほしいとの願いに背を向けました。

27日の市議会本会議では「子育て給付金の支給対象外の世帯に対して幅広い支援を求める付帯決議」が全会一致で可決されました。

臨時市議会 大石議員、武内市長に迫る

企業、医師、病院関係者と懇談



サンアキアTOTOの田中社長にアンケートを説明する永井議員

北九州市議団が今年2月から取り組んでいる「低用量ピルアンケート」について、永井佑市議は病院、企業関係者と懇談を重ねました。

サンアキアTOTO(株)では

対応した田中江美社長が、自らの体験を踏まえ生理休暇の取りにくさを語るとともに「職場でも女性特有の問題には触れていなかった」「誰もが働きやすい環境づくりのため、このアンケートは話のきっかけになる」と話してくれました。

病院関係者との懇談では、医師が低用量ピルの誤解や用途を誤った服用も少なくない現状があると指摘。その上で、「1つのツールとして選べるようになるのは良いが、正しい知識の周知が大切」と強調しました。

※ご協力いただいたアンケートの集計結果については、市議団のHPなどで後日公開します。

低用量ピルアンケートで

市政懇談会のご案内

6月議会の開会にあたり、市民の皆様のご意見・ご要望をお聞きする「市政懇談会」を、下記の日程で開催します。入場は無料で、どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

- ◆とき 6月3日(土)午後2時から
- ◆ところ 戸畑生涯学習センター



QRコードを読み込んで、アンケートにご協力をお願いします。

日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
大石 正信	高橋 都	◎永井 佑 藤沢 加代	荒川 徹 伊藤 淳一	出口 成信	☆○山内 涼成